



教育センターだより

教育センター研究員委嘱状交付式 第1回研究員会・富士山学習研究会



去る4月27日（水）に、中央公民館視聴覚室において平成28年度教育センター研究員委嘱状交付式が行われ、町内小中学校11校から選出された研究員一人ひとりに、梶原正孝教育長より委嘱状が交付されました。教育長から、教育センターは本町の教育に関する調査研究、研修、教育情報の収集活用、教育相談など多岐にわたって専門的業務を行う学校教育の中核になっている。近年では、「教育ニーズ」ということがよく言われるが、学習に関心がない、必要性を感じないなど、学び

の意欲をもたない子ども達がいることも現実である。教育センターが学校と教育行政をつなぎ、同じベクトルをもって、保護者を支援し、学習意欲をもち、「勉強したい」「～したい」と思う子ども達を育てていくことが望まれる旨のお話がありました。研究員のみならず教育に携わる者に対して、大きなご示唆をいただいたように思います。

交付式後、第1回研究員会（富士山学習研究会）が行われ、委員長に西浜小の藤巻桂吾先生、副委員長に船津小の梶原裕一郎先生・小立小の高尾久美子先生が承認され、3名を中心に活動していくことになりました。協議では、藤巻先生より昨年度の研究経過と今年度の方向性が提案され確認されました。また富士山世界遺産センターの原田先生から映像とともに富士山世界遺産センターの施設紹介がなされました。6月14日の第2回研究員会における臨地研修では、施設を体験するので、より具体的に学習指導計画に生かされるのではないのでしょうか。



～・・・～

***研究テーマ** 世界文化遺産に登録された「富士山」を児童生徒に伝えていくための授業作り

*研究活動の柱

- ①全校共通した富士山学習の教育課程への位置付けをめざす
- ②新たな題材を使った授業の提案

と公開授業の実施

③富士山学習年間計画の実施と見直し

④専門機関との連携による出前授業の実施

⑤研究員の研修の推進

～・・・～

